

議 長
確認印

湯遊ランドはなわ調査特別委員会会議録

1 日 時	開会 令和6年7月31日 13:30 閉会 令和6年7月31日 14:30
2 場 所	湯遊ランドはなわ
3 出席委員	鈴木元久、金澤太郎、小林達信、吉田広明、七宮広樹、下重義人
4 欠席委員	なし
5 出席要求者 (説明員)	まち振興課長、まち振興課長補佐兼商工観光係長 湯遊ランドはなわ総支配人
6 職務出席者	議長、議会事務局長
7 付議事件	第1 湯遊ランドはなわの現在の状況について
8 議事の経過	<p>金澤太郎副委員長による開会 鈴木元久委員長あいさつ 第1 湯遊ランドはなわの現在の状況について 委員長：説明を求める。 (まち振興課長が資料に基づき説明) 委員長：質疑あるか。 七宮広樹委員：滞在・支援いただいているホテル権会の人数は。 まち振興課長：8月は2人であった。部門・内容に応じて来ていただいている。 七宮広樹委員：湯遊ランドの支配人以下の従業員数は。 まち振興課長：32名である。 総支配人：パート・アルバイトを含めての人数。シフトを組んで勤務している。実質15~20人で回している。 七宮広樹委員：営業担当が1人であるが、改善の考えは。 総支配人：人手不足もあり、増やすのは難しい。 まち振興課長：毎月の打合せでも協議しているが、OTA利用は今後も増えていくと思われる。 吉田広明委員：光熱費の割合が21.3%とあるが、具体的な額はどのくらいか。 まち振興課長：令和5年度は4443万2992円(消費税抜き)。 七宮広樹委員：ランド独自のホームページがないように思うが、活用について伺う。 まち振興課長・総支配人：自社ホームページがあるので、町HPを経由しなくても閲覧できる。 吉田広明委員：インバウンド対応や単価・価格設定の考えは。 まち振興課長：外国人観光者への対応・体制が現時点ではできていないので、ホテル権会の支援を受けながら体制整備を図りたい。価格設定は権会のアドバイスを受けている。 七宮広樹委員：売上のある部門、ない部門は。 総支配人：一番売上があるのは宿泊。次に温泉利用して食事。 七宮広樹委員：足かせになっているものは。 総支配人：燃料費、人件費である。</p>

七宮広樹委員：ランドスタッフからのアンケートを実施したとあるが。

（まち振興課長が手持ちの資料内容を説明）

七宮広樹委員：合宿所的なPRをしては。

まち振興課長：プランニングをしていきたい。

七宮広樹委員：天体望遠鏡の活用については。

まち振興課長：有効利用を模索していく。

七宮広樹委員：キャンプ場、広場でのグラウンドゴルフの利用。

まち振興課長：アウトドアブームなのでキャンプ場の利用は多い。大人数で来客してのグラウンドゴルフ利用は最近ない。

副委員長：SNSによる発信支援とあるが、予約に至った件数の把握は。

総支配人：全体的な把握はできている。効果は出ていると思う。

副委員長：軽食コーナーの復活は。

総支配人：軽食コーナーで計画していた売上はレストランの方でできている。現状でまだ復活できない。

副委員長：この規模でいつまで営業できるのか判断する時期にきている。

七宮広樹委員：軽食コーナーをテナント方式で募集するのも一つの方法ではないか。

まち振興課長：一つの方法ではある。

（ダリア園、古民家についての質疑あり）

下重義人委員：ランドの監査委員から指摘されていることはあるか。

総支配人：人手不足の対応。

下重義人委員：よりよい方向に進むようにしていければと思う。

（サウナ室、大浴場、シックハウスについての質疑あり）

委員長：他ないので終了する。

副委員長による閉会

埴町議会委員会条例第27条の規定により署名する。

令和 年 月 日

湯遊ランドはなわ調査特別委員会委員長